

**第 25 回日本生命倫理学会年次大会
公募セッションおよび一般演題募集要項**

2013 年 4 月 1 日

大会長 池澤 優（東京大学）

1. 応募資格

公募セッション（シンポジウム・ワークショップ）のオーガナイザーおよび一般演題（口演・ポスターセッション）の発表者は、本学会の正会員か学生会員、または入会手続き中であること。

※今大会におけるシンポジストおよびワークショップ報告者については、学会員である必要はありません。ただしその場合でも、大会参加費をお支払い頂きますようお願い致します。

2. 発表形式

■公募セッション

90 分のセッション（シンポジウム型を 8 件程度、ワークショップ型を 6 件程度）を公募致します。

応募状況により、年次大会のテーマ（「死生学と生命倫理」）に沿った内容を優先し、ご希望通りにならない可能性もありますのでご了承下さい。

なお、今大会では、昨年度大会の方式を基本的に踏襲して、シンポジウムとワークショップのやり方を区別しています。以下の説明を参照のうえ、ご応募ください。

シンポジウム→従来の形式に準じます。

- ・ 90 分のうち、報告時間が 60 分以内、フロアを交えたディスカッションが 30 分以上となります。
- ・ 大教室（200 人程度収容可能）を使用します。
- ・ 提出書類

1. 公募シンポジウム申込書（4 月 1 日募集開始～5 月 26 日締切）：氏名・所属の右側に報告時間を記入してください。フロアを交えたディスカッション時間を確保するため、ご協力をお願いします。

【シンポジウム申込書報告時間記入例】

| | 公募シンポジウム | 会場 |
|----------------------|--|---------------------------|
| タイトル | 生存と生命倫理 | |
| 氏名（所属） | オーガナイザー： 東京花子 （ 倫理大学生命学研究科 ） | 15 分 |
| ※報告時間もご記入ください | シンポジスト： 1 東京太郎 （ 死生大学終末学部 ） 2 東京次郎 （ 生命研究所 ） 3 東京三郎 （ 倫理病院 ） 4 （ ） | 15 分 10 分 10 分 分 |
| | パネルディスカッション(ない場合は「0分」として下さい) ※オーガナイザー・報告者の報告とパネルディスカッションで計 60 分以内 | 10 分 |
| キーワード | (5 つまで) 死生学、臨床倫理、end of life、家族、社会 | |
| 発表形式 | PC およびプロジェクターを 使用する | |

※ 申込書 2 枚目の〈演者連絡先〉も忘れずにご送付ください。

2. 予稿集原稿（7月28日締切）：オーガナイザーによる「概要」および各報告者による「発表要旨」を所定のフォーム（A4サイズ）で各1枚、提出していただきます。フォームは後日、ホームページにアップします。記入方法の詳細は採否決定のお知らせの際、お伝えします。

ワークショップ→従来とは形式が異なります。

- ・90分のうち、報告時間が45分以内、フロアを交えたディスカッションが45分以上となります。
- ・中教室（最大100人程度収容可能）を使用します。フロアとのコミュニケーションを重視します。
- ・提出書類

1. 公募ワークショップ申込書（4月1日募集開始～5月26日締切）：氏名・所属の右側に報告時間を記入してください。フロアを交えたディスカッション時間を確保するため、ご協力をお願いします。「実施形態」の欄にはフリーディスカッションや合意形成を目指す等、自由にお書きください。

【ワークショップ申込書報告時間・実施形態等記入例】

| | 公募ワークショップ | 会場 |
|---------------------|------------------------------------|------|
| タイトル | 生存と生命倫理 | |
| 氏名（所属） | オーガナイザー： 東京花子 （ 倫理大学生命学研究科 ） | 10 分 |
| ※報告時間もご記入下さい | 報告者： 1 東京太郎 （ 死生大学終末学部 ） | 10 分 |
| | 2 東京次郎 （ 生命研究所 ） | 10 分 |
| | 3 東京三郎 （ 倫理病院 ） | 10 分 |
| | 4 （ ） | 分 |
| | パネルディスカッション（ない場合は「0分」として下さい） | 0 分 |
| | ※オーガナイザー・報告者の報告とパネルディスカッションで計45分以内 | |
| キーワード | （5つまで） 死生学、臨床倫理、end of life、家族、社会 | |
| 実施形態 | フリーディスカッション型 | |
| 発表方法 | PCおよびプロジェクターを 使用しない | |

「概要」にはワークショップを企画する背景・目的・内容に加えて、各報告者の演題もしくは役割、進行方法の詳細をお書きください。

※ 申込書2枚目の〈演者連絡先〉も忘れずにご送付ください。

2. 予稿集原稿（7月28日締切）：オーガナイザーによる「概要」を所定のフォーム（A4サイズ）で1枚、提出していただきます。今大会ワークショップでは予稿集原稿はオーガナイザーによる「概要」のみとし、各報告者の「発表要旨」は不要です。フォームは後日、ホームページにアップします。記入方法の詳細は採否決定のお知らせの際、お伝えします。

■一般演題

- ・口演は1演題あたり20分（報告10分+質疑応答10分）です。過去の年次大会について質疑の時間が少ないという意見が多くあったことと、予稿集の発表要旨の分量を増やすことによって、事前に発表内容がある程度理解しておいていただくことを前提にしています。口演で応募された場合でも、状況によりポスター発表とさせて頂くことがあります。

・ポスターセッションのパネルサイズは、1演題あたり縦118.9 cm×横84 cm（A0サイズ相当）を予定しています。口頭による説明・質疑応答は2日目に予定しています。持ち時間は、1演題あたり10分（口頭の説明5分+質疑応答5分）です。

・提出書類

一般演題申込書（4月1日募集開始～5月26日締切）：「一般演題：」の右側に希望の「公募カテゴリー」を記入してください。発表要旨はそのまま予稿集に掲載します。また、発表形式について「口演」か「ポスター」かまたは「どちらでも良い」か、をお選びください。

【一般演題申込書公募カテゴリー等記入例】

| | | |
|--------|---|----|
| | 一般演題 : G 障害・病い、高齢期医療と介護 | 会場 |
| 演題名 | 生存と生命倫理 | |
| 氏名(所属) | 東京太郎 (死生大学終末学部) 東京次郎 (倫理病院) 共同演者(※全員学会員)を全て記入 | |
| 専門分野 | 生命倫理学 | |
| キーワード | (5つまで) 生存学、生命倫理、障害、当事者 | |
| 発表形式 | 口演 | |
| 発表方法 | PCおよびプロジェクターを使用する | |

※申込書では以上につづけて「発表要旨」をご記入いただきます。「発表要旨」は予稿集原稿として、そのまま印刷します。

※ 申込書2枚目の〈演者連絡先〉も忘れずにご送付ください。

3. 応募方法

① 日本生命倫理学会第24回年次大会のホームページ (<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/dalspe/25jab/>) にアクセスして下さい。

② 「公募シンポジウム」「公募ワークショップ」「一般演題」と表示されている所定のファイル(マイクロソフトWord形式)をダウンロードして、以下の規定に沿って応募内容を入力して下さい。

a. 原則として、発表要旨/概要本文のフォントはMS明朝体、本文のフォントサイズは9ポイントでお願い致します。太字等の設定は、任意で使用して構いません。

b. 演題タイトルおよび小見出しなどがある場合にはMSゴシック体を使用して下さい。

c. 参考文献がある場合には、できるだけ要旨末尾に記載してください(字数に含む)。その際、自動脚注機能は使用せずに、手動でそれぞれ参照番号をつけて下さい。編集の都合により、レイアウトは修正される場合がありますので、ご了承下さい。

③ ファイルおよびメールのタイトルは、「公募シンポジウム応募：お名前」、「公募ワークショップ応募：お名前」「一般演題応募：お名前」、と必ずご記入下さい。

④ 2012年5月26日(日)までに、年次大会事務局のメールアドレス(jab2013tokyo@gmail.com)にファイルを添付してお送り下さい。【締切厳守】

4. 応募の確認・採否の通知

応募メールを受け付けたことを、応募後7日以内にメールで確認の返信を致します。もし7日を過ぎ

ても返事が届かない場合は、下記年次大会事務局へお問い合わせ下さい。

申込書に記載された「発表要旨／概要」を年次大会実行委員会で検討させていただき、メールにて6月中旬に採否の連絡を致します。

■公募シンポジウム・公募ワークショップ

採択された場合、予稿集の原稿を 2012 年 7 月 28 日 (日) までにメールに添付して提出して下さい。フォームは後日、ホームページにアップします。記入方法の詳細は採否決定のお知らせの際、お伝えします。

■一般演題

採択された場合、申込書に記載された「発表要旨」の内容を そのまま予稿集の原稿とさせていただきます。 以後の変更はできませんのでご注意下さい。

5. お問い合わせ先

第 25 回日本生命倫理学会年次大会事務局

113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター

電話：03-5841-3736 ファクス：03-5841-0259

Email：jab2013tokyo@gmail.com

※事務局へのご連絡は、原則として電子メールでお願いいたします。

6. ホームページ

第 25 回年次大会ホームページ URL：<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/dalspe/25jab/>

7. 今後のスケジュール（予定）

5 月 26 日（日）： 公募シンポジウム・公募ワークショップ・一般演題の応募締切

6 月中旬： 公募シンポジウム・公募ワークショップ・一般演題の採否決定通知

7 月 28 日（日）： 公募シンポジウム・公募ワークショップ予稿集原稿締切

9 月中旬： 年次大会通知、プログラム、事前参加申込書、振替用紙、ポスター発送

10 月 18 日（金）： 事前参加申込締切

11 月上旬： 予稿集発送

8. 第 25 回日本生命倫理学会年次大会実行委員 [敬称略]

池澤優（大会長、東京大学）

清水哲郎（実行委員長、東京大学）

堀江宗正（事務局長、東京大学）

会田薫子（東京大学）

土屋 篤（東京大学）、

古澤有峰（東京大学）

勝沼 聡（副事務局長、東京大学）、

圓増文（会計、東京大学）

武藤香織（学会企画委員長、東京大学）

足立智孝（学会事務局長、亀田医療大学）

（2013 年 3 月 31 日現在）

公募カテゴリー(カテゴリー名は暫定的であり、応募状況によってはご希望に沿えない場合があります。)

- A. 死生観と宗教・思想・文化
- B. 臨床倫理、看護倫理、医療倫理
- C. 最期ケア (end of life care)
- D. 高齢者ケア
- E. 超高齢社会の医療経済、資源配分
- F. 倫理と法
- G. 障害、福祉、公共政策
- H. 生殖医療と子ども・家族
- I. 先端医療技術、遺伝子技術、脳神経科学、エンハンスメント
- J. 環境・自然保護、大規模災害と倫理
- K. 医療事故、医療安全
- L. 臨床研究、研究倫理
- M. その他

以上